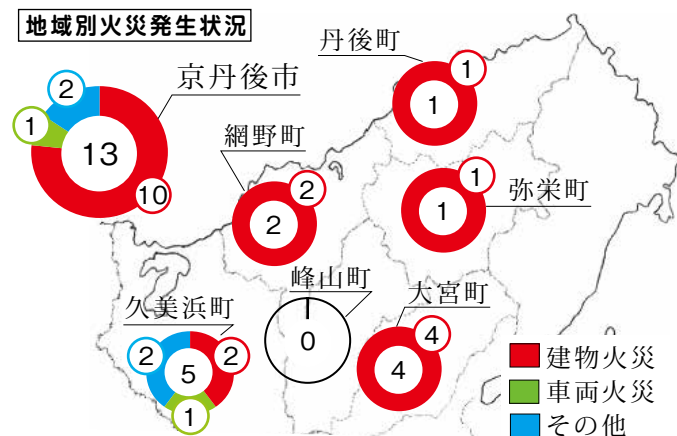


統計で見る京丹後の実態

平成30年中の火災、救助、救急など、消防に関する各種の統計調査結果をお知らせします。



建物火災は市発足の平成16年以降、最も少ない件数となりました。火災による死者は2人で前年から1人減少、負傷者は3人で前年から4人減少となりました。火災の原因は、火入れ、煙突、こゝろなどによるものなど多種に上りました。枯草焼きの最中に、強風にあおられて炎が大きくなり、延焼拡大するケースが見受けられます。強風時や乾燥しているときは火入れを中止するなど、気象情報に注意しましょう。また、火入れをするときは、十分な消火準備をして、完全に火が消えるまでは、そばを離れないようにしましょう。



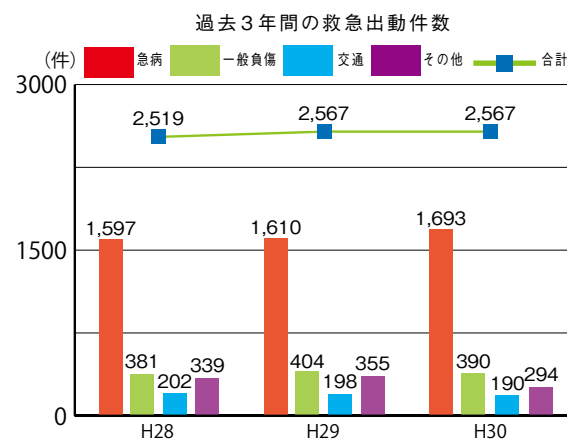
火災防御訓練の様子

救 助
39件



7月豪雨による道路冠水

救助出動件数は、前年から7件減少し39件でした。種別ごとにみると、交通事故が23件と最も多く、水難事故と建物事故が各3件、機械事故とガス酸欠事故が各1件、その他事故が8件でした。実際に救助活動を行った件数は、前年から9件減少し19件で、救助人員は前年から15人減少の21人でした。



救急出動件数は前年と同じで2,567件でした。種別ごとに見ると、急病が1,693件（全体の約66%）、一般負傷が390件（全体の約15%）、交通事故が190件（全体の約7%）でした。救急車による搬送人員は前年から22人増加し、2,437人でした。そのうち、65歳以上の高齢者が1,588人で全体の約65%を占めています。ドクターヘリと連携して活動した救急件数は98件（全体の約4%）でした。

救 急

2,567件



通信指令室の様子

通 信

3,453件

約2割が問い合わせやいたずら

119の受信件数は、前年から29件減少し3,453件でした。そのうち、問い合わせやいたずらが635件（全体の約18%）でした。消防署への問い合わせは、TEL 0772-6210119までお願いします。

火災・救助・救急

局番なしの
119



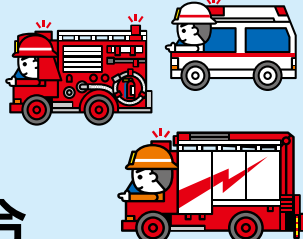
通報者

一般的な
問い合わせ
・出前講座
・消防設備
など

62-0119
72-0119
82-0119
75-0119

出動

各消防署所



通信指令室



出動指令

局番なしの
119で通信指令室に通報を！

市内で119通報をする、どこにつながるかご存知ですか？正解は、峰山消防署の通信指令室です。通信指令室には、担当の職員が24時間365日常駐しており、皆さんからの通報を受け付けています。また、通報の受付から活動終了までを迅速・的確に行うためのシステムを運用しています。各消防署所へ直接通報するよりスムーズな出動が可能となることから、火災、救助、救急の通報は、局番なしの119、携帯電話の場合でも、局番なしの119をお願いします。



消防長 上田 一郎

全世代が安心して暮らせるまちを目指して

平成30年は1月の草津白根山噴火に始まり、6月の大阪府北部を震源とする地震、平成30年7月豪雨、9月の北海道胆振東部地震など、自然災害が日本各地で甚大な被害をもたらしました。京丹後市でも7月豪雨、台風24号により家屋への浸水などの被害が発生しました。改めて自然災害の脅威を感じるとともに日頃の備えが大切だと感じた1年でした。

市消防本部としましても複雑多様化、大規模化するさまざまな災害はもとより、近年多発する自然災害に備えた対応能力の強化や火災予防対策の推進に取り組んでまいります。そして、子どもからお年寄りまで、市民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。市民の皆さまのより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

図 消防本部(Tel0772-62-0119)ホームページもご覧ください。 京丹後市消防本部 検索